

自己実現への道

第 64 回 — 第 4 章 天才とは真剣に夢を見る人（その 3） —

★大きな問題は小さな問題に分けて考えるとよい

ある日、マクドネル・ダグラス社の社長のウォルター・パーク氏のところにケネディ大統領から電話がかかってきた。「パークさん、月に人間を着陸させたいので、強力なブースターを搭載したロケットが必要です。いろいろと問題はありますが、なんとか解決してこの大事業を完成していただきたい」

パーク氏はこの仕事を引き受けた。

「不可能な問題に取り組むには、それをいくつもの問題に分解し、一問ずつ順次に解いていくことです」

ひとつひとつの問題を解決してゆくと、最後に難問がひとつ残る。

この最後の障害にすべての注意力を集中して取り組んでゆくと、ある日突然、突破口が開け、全問題が一挙に解決する。

パーク社長はこの方法で成功した。

どうみても手に負えない問題にであつたら、小問題に分割すればよい。

小問題・・・あなたに必要な決心、あなたに欠けている決心、あなたの消極的な態度、先入観・・・

部分的な問題なら全部解決できるであろう。

そして遂には解決不能の問題を見事に征服できるようになる。

とても難しいと思われる問題でも、必死になって取り組んでいけば、少しずつ解決してゆくものである。

たじろいではない。

★理屈抜きの信念が「音速の壁」を破った

否定的思考の専門家達は「そんなことはとても不可能さ」と言う。

だから、沢山の問題が未解決のまま残されてゆく。

しかし、「超音速のジェットエンジンの開発に成功した」

その理由は、「そんなもの、できるわけがない」という理屈を知らなかったからだ。

神は不可能ということをご存知ないのだ。

「不可能」という周囲の批判に気を取られるな。

「断じてやる」と常に思っていれば、不可能と思われていたことが、次々に可能になってゆくのだ。

積極的な人言になればきっとこのような人生体験に感涙することであろう。

<MIKO>

☞ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より